



Careoth People Stories

ゆうゆう

YUYU



「また来たい」の声が続出！ゆうゆう元気塾に人が集まるワケ。

～「ゆうゆう元気塾」に参加して健康で楽しい生活を！～

「ゆうゆう元気塾」は、運動不足や偏食などによる要介護リスクを防ぐため、キャレオスが行う介護予防サービからです。元気なうちから健康管理、健康増進に取り組み、楽しく長く自立した生活を目指します。身体を動かして健康になって、楽しく遊んで、ネイルできれいになって、おいしいものを食べて…700円！



大粒のカキフライが4個付いた「カキフライ定食」



みんなで声を出して歌うと楽しい♪



多種多様な運動マシンがそろ



おしゃれなネイルに気分が上がる！



折り紙でポインセチアを制作 皆さん真剣です

10時からは自由時間。運動やリハビリ、マッサージに足湯浴、カラオケ、麻雀、ネイル手芸まで多彩なプログラムから好きなものを選択。楽しみが多くて迷ってしまいます。

今日は何をする？ 選択肢いっぱい自由時間

9時30分元気塾スタート！51名が参加し、初参加6名・リピーター45名。自己紹介と抽選で盛り上がり、ラジオ体操で気持ちよく一日が始まります。



気合を入れて「エイエイオー！」

いよいよ元気塾スタート！笑顔あふれる朝の時間

午前中のスケジュール

- 09:30 元気塾スタート
- 10:00 自由時間
- 11:30 ランチタイム

「元氣な老後を地域で支えたい」という思いから始まった元気塾。「ここに来て元氣になった」という声も多く、名札の色分けや職員の声かけなど丁寧な対応が、地域の安心で居場所づくりにつながっています。

初めてでも安心。9割がリピーターになる理由



入社8年目、30歳の若さでホーム長になった井上龍哉さん

11時半お待ちかねのランチタイム。受付時に注文した「カキフライ定食」「松花堂弁当」など4種類から選べる弁当をいただきます。作りたてのアツアツが味わえるのも大きな魅力です。

お待ちかね！笑顔あふれるランチタイム



ヘルシーな松花堂弁当

運動マシンコーナーで参加者に寄り添う作業療法士 榎桂子さん。運動のアドバイスや身体の悩み相談を行い、元気塾を健康維持や介護予防に役立ててほしいと語ります。仲間づくりにおすすめです。

専門職がそばにいる安心感、元気塾の心強い存在



作業療法士の榎桂子さん



ゆうゆう元気塾

- 参加費** 無料
- 持参物** 昼食代700円、上履き(運動しやすいもの)、飲み物
- 対象者** 概ね70歳～、体力に不安のある方 ※介護保険をお持ちでない方も可能
- 予約** 不要

開催場所・開催日・問合せ

- ゆうゆう高木 第2日曜 0847-40-0100
- ゆうゆう神辺 第3日曜 084-960-6122
- ゆうゆう今津 第4日曜 084-930-4416
- ゆうゆう戸手 最終日曜 0847-54-0150

※スケジュールやプログラム内容は施設ごとに異なります。





夢門塾

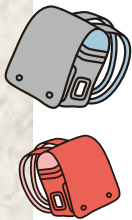
MUMONJUKU



Careoth People Stories

子どもたちの「できた!」を支える 新入社員・佐藤先生の1日に密着しました

放課後に子どもたちの声が響く夢門塾
ゆうゆう神辺。2025年春入社した佐藤
先生は、送迎や宿題の見守り、活動支援や
行事企画まで幅広く担当。一人ひとりに
向き合い、成長を支える喜びとやりがい
を感じながら日々奮闘しています。
今回はそんな入社1年目の佐藤先生の1
日に密着！初々しさの中にも丁寧な心
くばりを感じる、その仕事をのぞい
てみました。



1日のスケジュール

- 10:00 行事の準備やブログ更新
- 11:00 朝礼・朝の準備
- 13:50 送迎支援
- 12:30 お昼休憩
- 14:10 宿題の見守り
- 15:00 おやつ時間
- 16:00 運動の時間
- 17:00 DVD鑑賞から帰りの会



行事準備と発信の時間
行事の企画書づくりや、誕生日の子どもへ贈る色紙を制作。写真選びやメッセージに想いを込め、愛情を形にします。さらに「夢ブログ」を更新し、日々の成長や頑張りを保護者へ伝えていきます。



夢ブログを更新する佐藤先生



子ども一人ひとりの情報を共有

ミーティングで共有し、子どもたちを迎える準備の時間
朝礼で前日の様子や当日の予定を共有後、「ゆうゆうドル」や出退カード、コップなどを準備。「小さな変化も見逃さない」を意識し、子どもたちを思い浮かべながら丁寧に朝の準備を進めます。

編集後記
佐藤先生の1日に密着し、子どもの変化を見逃さない温かな姿勢と達成感を引き出す工夫が印象的でした。「できた!」を大切にしたいが、夢門塾の理念を体現し、今後の活躍にも期待が高まります。



宿題見守り



運動 バスをつなぐグループ

協力する楽しさを育てる、運動プログラムの時間
今週の運動は佐藤先生企画のバスケットボール。協力の大切さを伝えるため、バス回しやフリースローを導入。遊びの中でチームワークと力加減を学べる工夫に成長と熱意が光ります。



一人ひとりに寄り添う、宿題サポートの時間
宿題の時間は子どもたちそれぞれのペースで進行。佐藤先生は励ますより寄り添う声かけを大切に、読み上げや工夫を通して「自分でできた」という達成感を引き出しています。



送迎



体調チェックをしっかりと

笑顔と元気を乗せて、放課後のお迎えへ
ゆうゆう神辺には5校から子どもたちが集まります。佐藤先生は送迎車で神辺小へ向かい、学年もクラスも違う子どもたちをお迎え。元気に声をかける姿に、オープンで人懐っこい雰囲気が伝わります。



プロフィール 2025年4月入社 佐藤 幸乃先生

大学で学んだ福祉の知識を地元の子どもの支援に活かしたいと2025年4月入社。夢門塾の理念と子どもたちの笑顔に惹かれました。趣味は旅行、スポーツ観戦、ライブです。

上司、門田先生から一言

自ら考えて行動でき、気配りも抜群な頼もしい存在。保護者対応や周囲への配慮も自然で、忘れがちな点をさりげなくフォロー。新プロジェクトでも活躍が楽しみです。

変わらないでいるために、変わり続ける。 子どもの主体性と職員の働きやすさを育む。 「下の町乳児保育園」の取り組みと想い

社会福祉法人つくし福祉会が1975年に岡山県倉敷市児島で開設した『下の町乳児保育園』は、生後57日目から2歳児までを対象とした乳児保育園。広く開放的な遊戯室やランチルームを備え、家庭的なぬくもりあふれる雰囲気があります。2022年につくし福祉会とキャラオスグループが連携したことをきっかけに、同園もキャラオスが事業承継しました。この連携を機に、つくし福祉会は新たな理念を策定。開設51年目を迎えた下の町乳児保育園はその理念をもとに、子どもたちの主体性を育み、職員も働きやすい保育園へと進化しています。半世紀にわたって大切にしてきた想いと、時代に合わせて挑戦している取り組みについて三浦能子園長先生にお話を伺いました。



三浦園長先生インタビュー

子どもたちの力を信じる保育へ

つくし福祉会は新たに「子ども同士が自ら学び考え、行動する力を信じ、その力を発揮できる環境を整える」という保育理念

を加えました。以前は転べばすぐに保育士が手を差し伸べていましたが、今はあえて見守る保育へ。すると、転んだ友だちを助けたり、靴や帽子を直し合ったりと、子ども同士の関わりが自然に生まれています。大人が先回りしないことで、主体性や思いやりの心が育つています。

職員の仕事やすさも大切に

「職場環境の創造を事業理念として明確に掲げ、職員が安心して楽しく働ける環境づくりを進めています。保育士や調理師、事務員ら25名が在籍し、子育てや介護など各自の事情に配慮。当番業務の分担やリーダー交代など柔軟な体制を整えています。さらにLINE WORKSなどのデジタルツールを活用し、円滑な情報共有とコミュニケーションを実現しています。」



何でも相談できる職場づくり

下の町乳児保育園では、主任と職員の個別ミーティングを3カ月に1度行い、悩みの共有や目標設定を実施。子育てや介護の悩みは声をかけて丁寧に関わり、姿勢を大切にしています。誕生日には互いの良い点を書いたメッセージを贈り、信頼関係を育成。人間関係の良さが10〜20年働く職員の多さにつながっています。

想いを守りながら、進化する保育と働き方

「この園で大切にされた」という記憶が、子どもたちの人生の支えになってほしい。ありのままの自分を肯定し、自ら考え行動する力を育みながら子ども・保護者・職員にとって居心地のよい園づくりを続けていきます。」



取材を終えて…

愛情深い保育の温かさはそのままに、時代に合わせて方法や働き方を進化。子どもたちの自主性と心を育み、下の町乳児保育園はこれからも地域に欠かせない存在であり続けます。



プロフィール 三浦能子先生

長崎県・対馬出身。保育士資格取得のため倉敷市へ。下の町乳児保育園に入職して29年目、園長を務めて19年目を迎える。現在は保護者や職員の中にも教え子がいるなど、長年にわたり地域の子育てを支えている。



Careoth People Stories

国際事業

INTERNATIONAL BUSINESS

VOL
02
2026

キャレオス名物!?

多種多様な社内イベントと

それを支えるES委員会の取り組み

キャレオス株式会社では、「ゆゆうゆ祭り」をはじめ、運動会や球技大会、BBQ、果物狩り、カーブ観戦など、地域や利用者さまも一緒に楽しめる名物イベントが年間数十種類開催されています。その企画・運営を担うのがES委員会。今回は人気イベントの紹介とともに、委員長・安保優一さんのインタビューをお届けします。



NO.1 球技大会

【参加者の感想】

- 体を動かしてリフレッシュでき、良いストレス発散になりました。
- 他事業部の方とも一体感が生まれ白熱した！
- かつて部活でがんばっていた若手社員の雄姿が見られた。
- 人と話をするのが得意じゃないので、体を動かしてコミュニケーションがとれると嬉しい。

NO.2 YUMEパークBBQ大会

【参加者の感想】

- 普段は関わらない、さまざまな事業所の方とお酒を飲みながら話をするのがでて新鮮だった。絆や関係性が深まった。
- 家族も参加でき、職員間の家族交流ができた。

NO.3 運動会

【参加者の感想】

- 顔見知りではない職員の方と交流でき、円陣を組んで気合を入れたり、チームのために団結できた。
- イベントの話で盛り上がり、一時的ではあるかもしれないが職員間に活気が生まれると感じた。

NO.4 新年会

【参加者の感想】

- 普段は話す機会がない方とも、ゲームをしたり食事をしたりにして、楽しい時間を過ごせた。
- 子どもと一緒に参加でき、いろんなゲームをできて楽しかった。

NO.5 果物狩り(いちご、りんご、みかん、梨など)

【参加者の感想】

- イベントへの参加は苦手だったけど、技能実習生と一緒に参加し、とても楽しく交流できた。技能実習生もイチゴの大きさと甘さに感動していた。
- 運営スタッフとしてイベントに参加することが多いので、毎回改善するべき点が多くいっぱいいっぱいだったけど、それが楽しい！



社内イベントを支える 立役者ES委員会 委員長インタビュー

ES委員会に 入られたきっかけは？

当時の上司に誘われ地域のマラソン大会に参加し、そこでES委員会を知りました。岡山で放課後等デイサービスのエリアマネージャーを務めつつ、昨年度副委員長に就任。2025年度からは委員長として挑戦を続けていきます。

普段の活動内容を 教えてください

月1回オンラインでミーティングを行い、各拠点のイベント予定や報告を共有。全社共通企画に加え、地域行事にも参加します。愛媛・西条の「芋炊き」に岡山から参加し交流。幅広い世代が楽しめる地域ならではの企画も提案しています。

今後の目標を 教えてください

「こんなイベントをしてほしい」という声を気軽に集められるツールを作りたいと考えています。年1回のアンケートだけでなく、思い立ったときにすぐ意見を出せる仕組みを整え、ES委員会として迅速に企画へ反映していきたいです。



ES委員会 委員長 安保 優一さん